

2022年6月23日  
澁澤倉庫株式会社

## BYD ジャパンと業務提携契約を締結

～カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーの実現に向けて協働～

当社は、このたび、BYD の日本法人 ビーワイディージャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：劉 学亮、以下 BYD ジャパン）と、カーボンニュートラル社会の実現とサーキュラーエコノミー（循環経済）<sup>(※1)</sup> 転換に貢献するビジネスを協働するため、業務提携契約を締結いたしました。

本提携に基づく取り組みの第一弾として、当社グループは BYD 製の電動フォークリフトと EV 商用バスを導入し、両社はこれらの車両に搭載されたバッテリーの循環利用に向けた枠組み構築を進めてまいります。

(※1) 従来の 3R (Reduce、Reuse、Recycle) の取り組みに加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化などを通じて付加価値を生み出す経済活動。資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止などを目指す。



<写真左：BYD ジャパン 劉学亮社長、写真右：当社社長 大隅毅>

## 【取り組みの概要】

### ■BYD 製の EV バッテリーを循環利用

当社グループは、BYD 製の電動フォークリフトと EV 商用バンを順次導入し、両社はこれらの車両に搭載されているバッテリーを以下の通り利用する計画です。これにより、物流業務における CO2 排出量の削減と、BYD 製バッテリーの循環利用に向けた取り組みを推進してまいります。

1 次利用	・当社グループで活用される電動フォークリフトや EV 商用バンの電源として利用。
2 次利用	・1 次利用済みバッテリーを倉庫施設あるいは他の物件の定置型蓄電池としてプール。 ・その他、施設通常電源や災害時非常用電源として利用。
3 次利用	・2 次利用済みで、低容量のバッテリーでも活用できる設備への転用。 ・使用済みバッテリーのパーツの再資源化を検討し、それらを利用するバリューチェーンを構築。

こうした取り組みにより、当社グループは物流業務を通じたサーキュラーエコノミー転換への貢献を果たすことを期待しています。加えて、BYD ジャパンはこれまで主に中国仕様だった電動フォークリフトを日本市場に適した仕様への変更や車両開発に役立てることを期待しています。

### ■今後の展開

当社グループと BYD ジャパンは、バッテリーの循環利用のモデルを確立させるとともに、BYD 製品の特長の一つである耐久性を活かし、リンク部品の循環利用や、サブスクリプションサービスの提供を検討するなど、両社の協働により、持続可能な社会に貢献するビジネスモデルを追求してまいります。

## 【業務提携の背景】

当社グループは、コーポレートスローガン「永続する使命。」のもと、グループミッション「物流を越えた、新たな価値創造により、持続可能で豊かな社会の実現を支えること」を掲げ、事業を展開しています。Shibusawa 2030 ビジョンでは、事業の競争力強化とサービス領域の拡大に取り組むとともに、ESG 経営の確立を目指しています。地球温暖化の防止、循環経済への転換等の社会課題の解決に事業活動を通じて取り組むことにより、持続的な企業価値の向上を実現してまいります。

BYD は、ブランドミッション「Technological innovations for a better life. (技術革新によって、より良い暮らしを実現する)」のもと、自動車事業や新エネルギー事業をグローバルに展開しています。2022 年 3 月以降は内燃機関車の生産を停止し、新エネルギー車の生産に専念しており、モビリティにおける排出ゼロの取り組みをいち早く進めています。また、BYD の日本法人である BYD ジャパンは、国内で電気バスや電動フォークリフトを展開しています。電気バスは国内シェア約 7 割<sup>(※2)</sup>を占め、電動フォークリフトは累計納入台数約 400 台に上り、国内における電動化を後押ししています。

志しを同じくする当社と BYD ジャパンは、ともに事業を通じてカーボンニュートラル社会の実現とサーキュラーエコノミーへの転換を推し進め、持続可能な社会の実現に寄与するべく、業務提携を締結することといたしました。

(※2) 2022 年 6 月 23 日 (木) 時点、BYD ジャパン調べ。

## 【当社について（URL：<https://www.shibusawa.co.jp/>）】

当社は、渋沢栄一が1897年に現本社所在地で、渋沢家直営事業として創業しました。物流と不動産を事業の両軸とし、物流事業においては全国65拠点、総延床面積約200千坪、海外では中国、香港、ベトナム、フィリピンに拠点を有するなど、グローバルに展開しております。創業者の精神を受け継ぎ、正しい道理で追求した利益だけが永続し、社会を豊かにできると考え、物流を越えた、新たな価値創造により、持続可能で豊かな社会の実現を支えてまいります。

## 【BYD ジャパンについて（URL：<https://byd.co.jp/>）】

BYDは、1995年に中国・深圳で創業し、ITデバイス事業、自動車事業、環境エネルギー事業、モノレール事業をグローバルに展開しています。バッテリーメーカーとして創業した背景から、バッテリーはもちろん、モーターやコントローラーなど電気自動車のコアとなる技術を自社開発・製造しています。2005年に日本法人として設立したBYD ジャパンは、電気バスをはじめとする電気自動車事業のほか、ソーラーパネルや産業用の蓄電システムなどの環境エネルギー事業を国内で展開しています。

BYD ジャパンは、今後もブランドミッションである「Technological innovations for a better life」のもと、革新的な技術によって地球環境に配慮した製品・サービスを開発し、社会と人々の生活に寄り添った事業を展開してゆくとしています。

本件に関する問い合わせ先：渋沢倉庫 総合企画部 加澤

Email : [release@shibusawa.co.jp](mailto:release@shibusawa.co.jp)

以上